

歯科材料 09 歯科用研削材料  
一般医療機器 歯科用ダイヤモンドバー 16670000

FEEDダイヤモンドバー

【形状・構造及び原理等】

軸部形状：JIS T 5504 タイプ 3 (FG)  
材質：作業部；ステンレス鋼、ダイヤモンド砥粒  
軸部；ステンレス鋼  
粒度：レギュラー（なし）  
ファイン（赤）  
スーパーファイン（黄）

【使用目的又は効果】

微細なダイヤモンド結晶で砥着されたスチール製の作業部をもち、  
歯科用ハンドピースに装着し、歯牙、骨等の硬組織を研削するため  
に用いる回転式の研削器具である。金属、プラスチック、陶材、及  
び同様の材料の研削に用いることもできる。

【使用方法等】

1. 使用前に洗浄、及び滅菌する。（高圧蒸気滅菌／各医療機関により  
検証され確認された滅菌条件による。例 135℃30 分間。またはエ  
チレンオキシドガス滅菌）  
2. 歯科用ハンドピースに装着し、回転させてソフトタッチで断続的  
に被研削物に押し付けて研削を行う。

「使用方法に関連する使用上の注意」

・ 本品が併用される機器は以下の内容に適合する機器に限定する。  
・ 本品のシャンクを確実に把持することが可能である。  
・ 使用中、規定する最大回転数以内に制御が可能である。  
・ 注水機能を備えている。

・ 接続する機器の取扱説明書等に従ってシャンクを確実に奥まで  
挿入して、半チャックでないことを確認すること。

・ 使用する前に患者の口腔外で回転させて、シャンクや作業部の  
振れがないことを確認すること。

・ 頭部が細い、長い、あるいは大きい形状のものは、折れ、曲がり  
が生じる可能性があるため、無理な角度、過度の加圧での使用  
は避けること。

・ 過剰な熱を発生させないため、注水下フェザータッチで使用す  
ること。

・ 最大回転数を超えて使用しないこと。

最大回転数	型番
300, 000 rpm	101, 101S, 101L, 101R, 102R, 103, 103R, 104, 104R, 105R, 201SR, 204, 401, F102R, F104R, SF102R
450, 000 rpm	201, 201R, 301, 440S, 440SS

【使用上の注意】

・ 使用前に必ず製品及び包装の点検、洗浄・滅菌（【保守・点検に  
係る事項】参照）をし、異常が確認された場合使用しないこと。

・ 研削作業時には、目の損傷、飛沫感染を防ぐために保護メガネ、  
マスク等を着用すること。

・ 折損、破損等の原因となるので、本品に対する曲げ・切削、打刻  
（刻印）等の二次的加工（改造）は絶対に行わないこと。

・ 破折等の原因となるため、強い衝撃を与えないように丁寧に取  
り扱うこと。

・ 【使用目的又は効果】の項に記載の用途以外には使用しないこ  
と。

・ 歯科医療有資格者以外は使用しないこと。

・ 廃棄の際は感染防止に留意し、関係法令及び各自治体の指導に  
従った安全な方法で適切に処理すること。

【保管方法及び有効期間等】

「保管方法」

・ 高温、多湿、直射日光、水濡れ、オゾン、腐食性薬剤及びその蒸  
気の暴露を避けて、外圧（物理的負荷）及び汚染を受けない清潔  
な場所に保管すること。

・ 滅菌済みのものを貯蔵・保管する際、汚染を防ぐため清潔な場  
所に保管をするとともに、有効保管期間の管理をすること。

・ 「もらいさび」を防ぐため、錆びている器具と一緒に保管しな  
いこと。

・ 接触腐食を防ぐため、材質の異なる金属製器具どうしは保管時  
に接触させないこと。

・ 歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【保守・点検に係る事項】

・ 使用前に必ず点検し、本品に破損、磨耗、腐食（錆）、変形、脱  
落、その他損傷等が確認された場合、使用を中止し廃棄するこ  
と。

・ 洗浄または消毒する際は、感染予防のためゴム手袋、保護メガ  
ネ、マスク等を着用すること。

・ 機器に付着した血液、体液、組織及び薬品、歯科材料等は、乾  
燥・固化する前に流水による洗浄、洗浄液等への浸漬等により  
確実に除去すること。

・ 汚染除去に用いる洗剤は、洗浄方法に適したものを選択し、適  
正な濃度で使用するすること。

・ 塩素系、ヨウ素系、強アルカリ性、弱酸性の洗浄剤や消毒剤は、  
腐食の原因になるので使用を避けること。使用中に付着したと  
きには水洗いすること。

・ 接触腐食を防ぐため、材質の異なる金属製器具どうしは洗浄時  
及び滅菌時に接触させないこと。

・ 金属たわし、クレンザー（磨き粉）等は、器具の表面を損傷し腐  
食の原因となるので使用しないこと。

・ 洗浄装置（超音波洗浄装置、ウォッシュャーディスインフェクタ  
等）で洗浄する際、器具どうしが接触して損傷することがない  
よう注意すること。

・ 洗剤の残留がないよう十分にすすぎを行うこと。仕上げすすぎ  
には、浄化水（濾過、蒸留、脱イオン化等）を用いること。

・ 腐食、変色、シミ等を防ぐため、保管期間の長短にかかわらず洗  
浄した後は直ちに乾燥すること。

・ 滅菌する場合、高圧蒸気滅菌（各医療機関により検証され確認  
された滅菌条件による。例 135℃ 30 分間）またはエチレンオ  
キシドガス滅菌をすること。

・ セットまたは包装は、関連器材の仕様を熟知して行うこと。

・ 本品の品質を損なう恐れがあるので、滅菌時 135℃を超えて加熱  
しないこと。

・ 完全に乾燥していることを確認してから保管（【保管方法及び有  
効期間等】参照）すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：フィード株式会社  
商品インフォメーションデスク  
電話 0120-004-504

文 2662-10474-01

1/2